

～令和4年度修了式の言葉～

さて、みなさん、今日は令和4年度修了式です。

この日を迎えるということは、それぞれの学年の課程をすべて終えたということです。1年を終える今、自分の成長や頑張ったことを振り返ることはできますか？

先日の卒業式では、「中学校の課程を卒業したことを証する」として、3年生に「卒業証書」を手渡しました。あの日の先輩たちの姿を思い出してみてください。

一人一人が私から卒業証書を受け取り、ステージを降りるあの瞬間、すっと顔をあげ、しっかりと前を見据え、そして、階段を下りていたことに気づいた人はいますか？

あの姿には、自分の三年間を誇りに思い、そして新たなスタートへの決意を込めて、お世話になつた人たちに、胸をはって感謝を伝えたいという先輩たちの思いが込められていたのです。

みなさんにも、1年後、2年後、それぞれに、あの瞬間を迎える日が必ず来ます。

誇りに思える時間を大切な仲間と共に創り上げていけることを、強く希望します。

もう一度言います。「大切な仲間と共に」です。「仲の良い友人と共に」ではありません。その意味をよく考え、全員で楽しめる寺井中学校を自分たちの手でつくってください。

そのために大切なことは、「つながること」だと、私はいつも思っています。

だから、「あいさつと返事と笑顔」は大事だと考えているので、まずは自分の姿でと思いながら、みんなにも自分から相手がされて気持ちの良いあいさつができる人になってほしいと思っていました。なぜなら、その方がみんなにいいことが返ってくるからです。

だから、朝も玄関で、私からは言わずに我慢して、みんなが自分からあいさつができるように少し待って、「おはようございます」と言えたそのあとに「OK!おはよう」と返すようにしていました。

「OK!」にメッセージを込めて、「これでいいんだ、次もう少し大きな声で言ってみようかな」ってなってくれたらいいなあと思っていました。

中には3m先ぐらいで、目が合った瞬間に、とてもさわやかな挨拶をしてくれる人もいます。

そんな子がたくさん増えたらいいのになあって思っています。

いつも言い続けてきましたが、私たちは一人で生きているのではありません。お互いに支え合い補い合いながら成り立っている社会の一員として、生かされているのです。だから、どんなときも「つながる」ことができなければいけないということを忘れないでください。そして、つながる人を自分の好き嫌いで選り好みしていたのでは、自分の世界が広がらないということも、心にとめておいてください。

4月には2年生に、3年生にと、それぞれ進級します。1年後、2年後、卒業証書をもらってステージを降りるあの瞬間、まっすぐ前を見て、胸を張れる3年間となるようにしてください。

以上、令和4年度修了式の言葉とします。